

心に残る文化財子ども塾 雲南市立三刀屋小学校

1. 活動の概要

5月30日（火）、雲南市立三刀屋小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、古代出雲歴史博物館の学芸員から奈良の大仏の大きさの話を聞き、続いて、「奈良の大仏の巨大さと、込められた思い」をテーマに、奈良の大仏の実物大パネルを組み立てました。大仏パネルが完成すると、子ども達はその大きさに驚いた様子で、歓声があがりました。

その後、大仏が作られた奈良時代の様子や、大仏の特徴などを学習し、最後に学校周辺の遺跡や古代寺院について話を聞きました。

2. 活動の様子



床一面に散らばったパネルを並べていきます。チームワークが肝心。



本物の大仏のように下から作っていきます。だいぶできてきました。



完成！みんなで記念撮影をしました。



最後に奈良時代の様子や地元の古代寺院についてパネルやプリントで学習しました。

3. 活動を終えて

① 児童の皆さんから

- 大仏パネルを作って実物大が思ったより大きいということが一番心に残った。
- 機会があったら、本物の大仏の大きさや高さを見てみたいと思いました。
- もっと大仏のことにについて知りたいです。
- 協力して大仏パネルを作ったことが一番心に残った。
- もっと難しい大仏パネルを作りたい。
- 大仏のおでこの点が、ほくろではないことに驚いた。
- もっと色々な大仏や、昔の大仏のことを知りたい（見たい）。
- 三刀屋の古墳についても知りたい。
- (学校のある) 雲南市の遺跡だけでなく、出雲市や松江市の遺跡のことも知りたい。
- ほかの体験もしてみたい。

② 担任の先生から

- 実際の大仏の大きさを感じることができた。
- 協力して完成できたことが良かった。
- 作った後の紙芝居形式での説明がわかりやすかった。写真をもっと大きくし、クイズを3択にするとさらに良いと思う。
- 地域の文化財にも触れてもらったことが良かった。

③ 古代出雲歴史博物館から

大仏の大きさを目の当たりにして、驚きの声があちこちで上がりました。体験を通じて、大仏や奈良時代、そして地域の歴史へ興味を持ってもらうことができたのではないかと思います。大仏が完成してから、大仏造立にまつわるお話をしましたが、今後はお話しの部分で使うパネルやクイズを工夫して、さらに分かりやすく伝える工夫をしていきたいと思っています。